

特定事業として選定した「埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業」に係る事業者を選定したので、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）第8条の規定に基づき、その結果を公表します。

平成22年 8月11日

埼玉県知事 上田 清司

埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業 に係る事業者選定について

第1 事業者の選定

1 選定会議の設置

学識経験者及び本県職員で構成する「埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案選定会議（以下「選定会議」という。）」を設置しました。

選定会議の委員は、以下のとおりです。

委員長	中上 英俊	（慶應義塾大学 SDM研究科教授）
副委員長	富岡 正明	（埼玉県総務部副部長）
委員	長島 良亮	（公認会計士）
	布施 征男	（財団法人省エネルギーセンター国民活動総括部部长 省エネルギー人材育成グループ長）
	栗原 正安	（埼玉県総合技術センター主席工事検査員兼総合技術幹）

2 選定方法

選定会議において、「埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案審査要領（以下「審査要領」という。）」に基づき審査しました。

3 事業者の募集及び選定スケジュール

(1) 募集要項公表（埼玉県ホームページに掲載）	平成22年 4月19日(月)～
(2) 募集要項等に関する質問受付 （埼玉県ホームページに掲載）	平成22年 4月19日(月) ～22年 4月23日(金)
(3) 第1回選定会議の開催	平成22年 4月22日(木)
(4) 参加表明書及び資格確認書類の受付	平成22年 5月19日(水)
(5) 参加資格確認結果及び提案要請書の送付	平成22年 5月24日(月)
(6) 現場ウォークスルー調査	平成22年 5月31日(月) ～22年 6月 1日(火)

- | | |
|----------------------|----------------|
| (7) 提案書の受付 | 平成22年 7月12日(月) |
| (8) 第2回選定会議の開催 | 平成22年 7月15日(木) |
| (9) 優先交渉権者等の選定結果公表 | 平成22年 7月23日(金) |
| (10) 第3回選定会議の開催 | 平成22年 7月28日(水) |
| (11) 優先交渉権者等の再選定結果公表 | 平成22年 7月29日(木) |

第2 選定結果

1 応募者一覧

次の応募者から提案応募がありました。

No	代表構成員	構成員
1	株式会社山武	首都圏リース株式会社 株式会社アペックエンジニアリング
2	ジョンソンコントロールズ株式会社	芙蓉総合リース株式会社 株式会社ソーセツ

2 選定事業者

選定会議で審査した結果、次のとおり選定されました。(別紙「審査の講評」のとおり。)

(1) 最優秀提案者

ジョンソンコントロールズ株式会社・芙蓉総合リース株式会社・株式会社ソーセツのグループ

(2) 優秀提案者

株式会社山武・首都圏リース株式会社・株式会社アペックエンジニアリングのグループ

3 優先交渉権者等

「埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案募集要項」及び「埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案審査要領」規定に従い、最優秀提案者を優先交渉権者に、優秀提案者を次選交渉権者と決定しました。

第3 評価の結果

1 提案審査結果

審査要領で規定するエコオフィス提案審査評価項目に従い総合的に審査し、総合得点の最も大きい提案が最優秀提案に選定されました。

エコオフィス提案審査評価項目表

評価項目	応募者	
	1	2
①対象施設全体の省エネルギー率が6%以上であり、省エネルギー効果が十分にあること。	18.4	25.0
②二酸化炭素排出の削減効果が高い等、地球温暖化対策に有効であること。	20.9	25.0
③7年間の利益総額が大きいこと。	15.0	8.6
④二酸化炭素削減量/総事業費(千円)	23.4	25.0
⑤光熱水費等削減保証額が高いこと。	18.7	20.0
⑥資金調達計画が信頼できること。	22.0	20.0
⑦技術提案に具体性・妥当性があること。	22.0	24.0
⑧提案に独自性や特殊なノウハウが含まれること。	16.8	12.8
⑨エコオフィス設備対象項目が充実していること。	20.0	20.0
⑩維持管理、計測・検証方法及び運転管理方針の提案に具体性・妥当性があること。	20.0	21.0
⑪省力化を実現する提案に具体性・妥当性があること。	22.0	22.0
⑫優れた品質管理を行い、期限までに確実に工事を完了し、県に省エネルギーサービスの提供ができること。	15.0	15.0
⑬契約期間終了後の維持管理について提案があること。	10.2	12.0
⑭執務環境の改善が考慮されていること。	21.0	21.0
⑮提案が全体としてバランスが優れ、プレゼンテーションの内容が分かりやすいこと。	22.0	20.0
合 計	287.4	291.4
順 位	2	1

2 VFM (Value for Money) の算出

本事業を特定事業（PFI事業）として選定する際に用いた前提条件を基に、最優秀提案によるPFI事業と、県が直接事業を実施する場合の負担額を、現在価値換算額で比較しました。

この結果、最優秀提案は、県が直接実施する場合に比べて、現在価値に換算して、財政負担が7.4%削減されることとなります。

第4 最優秀提案の概要

- | | | |
|---|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1 | 省エネルギー率 | 15.8% |
| 2 | 二酸化炭素削減量 | 76.2 t |
| | 二酸化炭素削減率 | 24.8% |
| 3 | 提案省エネルギー手法 | |
| | (1) 空調機の個別化による高効率機器の導入 | |
| | (2) 外気処理ユニットの導入による空調負荷低減、全熱交換器の導入 | |
| | (3) 高効率給湯器の導入 | |
| | (4) 節水シャワー水栓の設置・循環昇温装置の導入 | |
| | (5) 照明設備の高効率化 | |
| | (6) 遠隔監視装置設置による省力化 | |
| 4 | 各年の光熱水費等削減額 | 17,277千円/年 |
| 5 | 光熱水費等削減率 | 54.4% |
| 6 | 年間光熱水費等削減保証額 | 16,756千円/年 |
| 7 | 契約期間 | 7年間 |
| 8 | 省エネルギーサービス料 | 初年度 91,000千円/年
次年度以降 16,275千円/年 |

担 当	埼玉県総務部管財課設備担当（高野、筒井、近藤）
住 所	〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
電 話	048-830-2596（設備担当直通）
F A X	048-830-4743

埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業に係る 提案審査について

本事業については、7月23日に提案審査の講評を発表したところですが、講評公開後に事務局の採点結果の一部に誤りがあることが判明しました。

埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案選定会議において、正しい採点に基づき再度審査し順位付けを行った結果、ジョンソンコントロールズ株式会社グループの提案を最優秀提案とし、優先交渉権者とするものとしました。

また次点の株式会社山武グループの提案を優秀提案としました。

事務局の事務処理の誤りから、参加していただいた皆様に多大なるご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

平成22年7月29日

埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案選定会議

委員長	中上 英俊
副委員長	富岡 正明
委員	長島 良亮
委員	布施 征男
委員	栗原 正安

埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業に係る

提案審査の講評について

本事業は、中規模の複数施設を対象に老朽化した空調設備改修工事等を実施することにより、省エネルギー及び維持管理費用の削減を実現させるためのＥＳＣＯ提案の公募であり、応募者の独自性、ノウハウを生かした提案を広く求めたところ、株式会社山武・首都圏リース株式会社・株式会社アペックエンジニアリング、ジョンソンコントロールズ株式会社・芙蓉総合リース株式会社・株式会社ソーセツの以上２グループから応募がありました。

埼玉県における事前の省エネルギー診断では、９．９％の省エネルギー率及び２０．３％のＣＯ２排出量削減率を見込んでいましたが、いずれの応募者の提案もこれを上回る省エネルギー効果及びＣＯ２排出量削減率が見込まれる内容となっており、事業の技術面及び維持管理面に関しても具体的で妥当なものでした。

これらのＥＳＣＯ提案を、埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案審査要領に基づき、提案書及び応募者によるプレゼンテーションなどの審査を行い、当事業提案選定会議の各委員で評価し順位付を行いました。

その結果、総合評点の最も高い株式会社山武グループの提案を最優秀提案とし、優先交渉権者とする事としました。

また次点のジョンソンコントロールズ株式会社グループの提案を優秀提案としました。

株式会社山武グループの提案は、個別空調化に当たって施設の使用状況を考慮し空調機の方式・型式を選定しているほか全熱交換機の設置、窓への遮熱フィルム設置による空調負荷低減、高効率ガス給湯器導入、照明設備の高効率化、節水栓の設置や高機能集中管理コントローラの設置による省力化など財政面、技術面のみならず、室内機にカセット型を多く採用し部屋の有効利用を図るなど、執務環境の改善にもつなげるバランスの取れた提案となっていました。

また、ジョンソンコントロールズ株式会社グループの提案は、外気処理ユニットの設置、大浴槽への循環昇温装置の導入や節水シャワー水栓設置による水の節約及び熱負荷の低減、遠隔監視装置を設置し運転データを迅速に収集することで適切な維持管理の実施するとともに、省力化を図るなどの独自性が見られる提案となっていました。

最後に、応募者には多大なる労力をおかけし、貴重なるご提案をいただいたことを心からお礼申し上げます。

平成２２年７月２３日

埼玉県朝霞地方庁舎ほかエコオフィス化改修事業提案選定会議

委員長	中上 英俊
副委員長	富岡 正明
委員	長島 良亮
委員	布施 征男
委員	栗原 正安